

C分科会 私立大学等経常費補助金

運営委員：川 並 孝 純
高 久 達 也
新 保 早 苗

C分科会では、経験が浅い方を中心に37名が集い、「私立大学等経常費補助金の仕組みを学ぶこと」を目的とし、講義と計算作業実務を通して、経常費補助金に関する仕組みと一連の事務作業の理解と習得が得られるよう取り組みました。

最初に、新保委員が経常費補助金の歴史、関係法令、経常費補助金取扱要領・配分基準の概要について、それぞれ講義を行いました。

次に、日本私立学校振興・共済事業団助成部補助金課の宮田直樹課長補佐から、経常費補助金計算の基礎資料となる「学校法人基礎調査票」の記載項目（専任教員等の認定基準、授業時間数、給与、特例区分等、専任職員の認定基準、勤務日数・時間、給与、特例区分等）、補助費目ごとの補助金基準額の計算方法、第一次調整における増減率、第二次調整の高額給与調整等について、「経常費補助金取扱要領・配分基準」、「経常費補助金事務担当者資料」、「費目別補助金配分額計算表」に基づいて、詳細かつ具体的な解説をいただきました。また、会計検査院の現地検査の概要、不当事項の事例、申請時の要点についてもわかりやすい説明をいただき、日常的に業務の整備と改善に努めることの必要性を深く認識できました。さらに、宮田課長補佐に個別相談を受けていただき、各校担当者が直面している問題の解決が図られました。

最後に、高久委員が、「経常費補助金計算用紙」を用いて、経常費補助金の計算に関する具体的な説明を行い、参加者は電卓を片手に実際の計算に取り組みました。限られた時間でしたが、「経常費補助金取扱要領・配分基準」に則って、すべての補助費目ごとに補助金基準額の計算を行い、調整・圧縮を経て、最終目標である「費目別補助金配分額計算表」の作成に至るまで行いました。

初めて経験する方々も経験豊富な方々も、情報交換会も含めて最初から最後まで意欲的に参画しようとする姿勢が大いにみられ、大きな成果が得られたことと確信しています。

以上